

事業番号	154
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	保育園施設営繕事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	子育て支援課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	保育係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		12 子育て支援		2 多様な保育サービスを提供する				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	3	目	4	大	4	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	児童の心身ともに健やかな育成のため保育園施設の整備を行う。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 園舎改修工事などを行う。 主な工事として、古雅保育園駐車場整備工事、北里・大城保育園庇等設置工事、藤島保育園遊戯室床改修工事、三ツ淵保育園トイレ改修工事等。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳 設計管理委託料21,588千円、保育園営繕工事34,984千円、保育園耐震改修工事費21,420千円 その他2,565千円 ※その他財源は、保育料14,194千円、地方債9,000千円</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 設計監理委託料917千円、保育園営繕工事費69,400千円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	42,278	36,058	80,557	70,317	
		正職員	従事者数	人	0.70	0.70	0.70	1.00
			人件費	千円	3,731	3,731	3,731	5,330
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	46,009	39,789	84,288	75,647	
対前年比		%		86.4	211.8	89.7		
財源	一般財源	千円	36,732	39,483	60,521	50,870		
	国・県支出金	千円	9,277	306	573	490		
	その他財源	千円	0	0	23,194	24,287		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	営繕工事件数	件数	目標	14	14	8	25
			実績	25	26	32	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	実受入児童数 (年間平均受入人数)	人	目標	30,120	30,120	30,120	30,480
			実績	28,497	28,284	28,477	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の事業の達成状況	24年度は予算に計上した営繕工事件数を目標値としたが、例年、前年度には予測しなかった営繕工事が必要となるため、目標値を上回る結果となった。なお、各園の老朽化が進んでいるため、年々営繕工事件数は増加する傾向にある。 (受入児童数については、例年3歳以下のクラスは満員の保育園が多いが、4、5歳児のクラスに空きがある保育園が大半であるため、目標値を下回る総計となった。)		
	事業実施における課題	老朽化した園舎にて運営している現状から、突然予定外の工事が発生する。実受入児童数については、実績と差がある。低年齢児を中心に待機児童が発生している反面、4・5歳に多少空きがある。また、地域に偏った入園希望がある。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	園児の安全で快適な保育園生活を保障できない。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	計画的に営繕工事を実施し、建物の長寿命化を図る。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	適切な、工事を実施し、保育園の老朽化・使い勝手等を改善する必要がある。		
	26年度以降の改善案	今後も園児が安全、快適に保育園生活をおくれるよう、計画的に営繕工事を実施する。 工事の実施に際しては、今後検討する園舎の建替計画と整合性をとりながら、既存園舎の長寿命化を図っていく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。ファシリティマネジメントの視点から、計画的に営繕工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。